

**SHIBUYA QWS（渋谷キューズ）「ALL QWS 共創プロジェクト」始動！
企業・自治体・大学など総勢 123 のステークホルダーとの共創広告を渋谷駅構内に掲出
新たなチャレンジャーを募集する「QWS チャレンジ」応募受付中！
掲出期間：2023年3月20日（月）～3月26日（日）
特設サイト URL：<https://all-qws-ad.com> ※3月20日（月）公開**

「渋谷スクランブルスクエア」15階に位置する共創施設「SHIBUYA QWS(渋谷キューズ／以下、QWS)」(本社：東京都渋谷区、運営会社：渋谷スクランブルスクエア株式会社)は、企業・自治体・大学など総勢123団体との共創広告を、渋谷駅構内の巨大広告スペースに2023年3月20日（月）～3月26日（日）に掲載します。

これは、QWS が当施設で活動する会員「株式会社 GEKI（以下、GEKI）」との共同企画により、同じく QWS 会員として活動する方々や連携パートナーなど、総勢 123 団体のステークホルダーと共創した「ALL QWS 共創広告」です。123 団体の中身も幅広く、企業、自治体、スタートアップ、学生、個人事業主、大学、NPO 等、QWS という施設に関わる方々の多様性が表れています。

広告には、123 団体のロゴと QWS で取り組んでいる各団体の「問い」を掲載しており、各団体が現在取り組んでいるもしくはこれから取り組もうとしている多様な「問い」に触れることができます。さらに広告に記載している QR コードを読むと特設サイトに遷移し、そこから QWS で活動する会員にアプローチすることができるなど、広告だけに留まらず、さらなる共創が生まれる仕組みになっています。

さらに、世の中に熱意を持ったチャレンジャーを増やすべく、採択されると QWS を 3 カ月間無料で利用できる公募制プログラム「QWS チャレンジ」15 期の募集を行っています。応募者向けの説明会を 3 月 23 日（木）に QWS およびオンラインにて開催予定です。

■ALL QWS 共創プロジェクト（以下、本プロジェクト）実施内容

- ・2023年3月20日（月）～3月26日（日）の期間中、渋谷駅構内に QWS の巨大広告を掲載
- ・広告ビジュアルに QWS 所属会員および連携パートナーのロゴ／問いの掲載
- ・QWS で問いを持っている会員にアプローチができる特設サイトを広告に合わせて開設

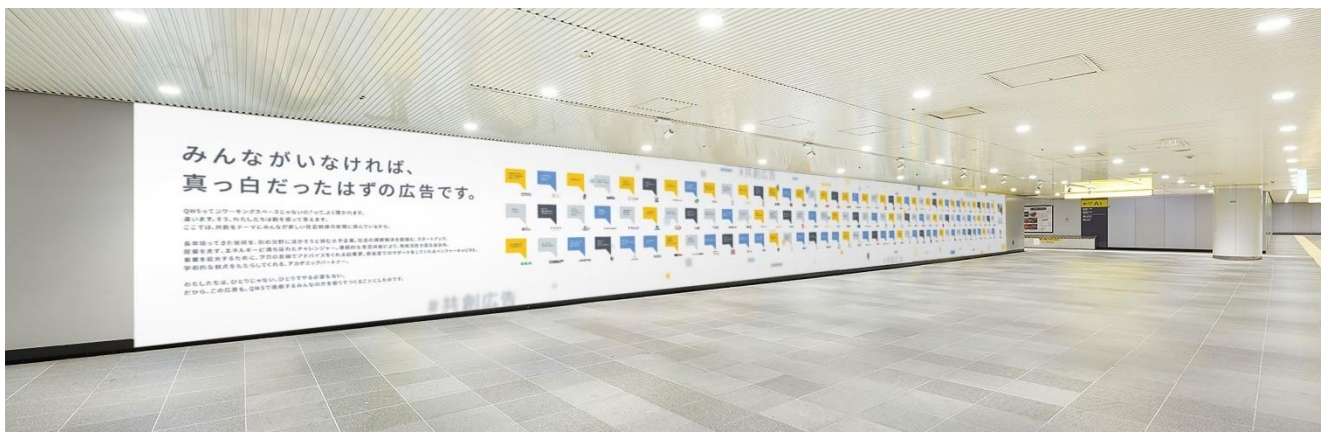
■本プロジェクト実施の目的

QWS は「渋谷から世界に問いかける、可能性の交差点」をコンセプトに、多様なバックグラウンドや活動領域の人たちが交差交流することで、“新しい社会価値につながる種”を生み出すことを目指す会員制の共創施設です。QWS ではイノベーションを目的に置かず、まず問いや課題を起点に取り組むことが重要であると考えており、施設内では世代・領域を問わず多様なひとびとが混ざり合いながら、価値創造に向けて対話とコラボレーションを繰り返しています。

今回はそれを体現するために、QWS のコミュニティ「Scramble Society」に属する仲間がそれぞれの問いとともに集い、共創することで完成した屋外広告を掲出します。

この企画を通じて、QWS では所属や立場が全く異なる会員が共創し新しい社会価値の創出に挑んでいることを届けるとともに、それぞれ QWS で挑戦しているチャレンジ自体の露出も増やしていくことで、世の中に熱意を持ったチャレンジャーを増やすことを目的としています。

【掲出イメージ】



▲掲載イメージ

みんながいなければ、 真っ白だったはずの広告です。

QWSって coworkingスペースじゃないの？って聞かれます。
違います。そう、わたしたちは胸を張って答えます。
ここでは、共創をテーマにみんなが新しい社会価値の実現に挑んでいるから。

長年培ってきた技術を、別の分野に活かそうと挑む大手企業。社会の課題解決を自論む、スタートアップ。
起業を志す、エネルギーに満ち溢れたチャレンジャー。積極的な官民共創により、地域活性を図る自治体。
事業を拡大するために、プロの目線でアドバイスをくれる起業家。資金面でサポートしてくれるベンチャーキャピタル。
学術的な視点をもたらしてくれる、アカデミックパートナー。

わたしたちは、ひとりじゃない。ひとりでの必要もない。
だから、この広告も、QWSで挑戦するみんなの力を借りてつくりにしたのです。

#共創広告



共創施設の価値や
魅力をより多くの人に
知ってもらうには？



ひとの生きる
理由を創るには？

G E K I

▲メインコピー

▲問いのイメージ

■ 今回の共創メンバー

企業 (26)、自治体 (9)、大学 (7)、コモンズ会員 (19) 個人会員・プロジェクト会員 (41)、その他連携パートナー (21) など 計 123 団体

■ チャレンジャー求む！QWS チャレンジ 15 期生募集中！

応募者向け説明会：3月23日（木）18:00～@SHIBUYA QWS クロスパーク & オンライン

申込 URL：<https://shibuya-qws.com/event/qws-challenge/20230323>

QWS チャレンジはビジネス、アート、テクノロジー、デザインなど多様な領域のプロジェクトに応募いただける支援プログラムです。採択されたプロジェクトは3カ月間無料でQWSを活用でき、それぞれの「未知の価値」を目指して活動します。必要となるのは自らの感性に基づいた自発的な「問い」のみです。採択されると、下記の支援が受けられます。

01

プロジェクトスペースの無料利用
(3カ月)



02

Scramble Society
の多様なネットワーク*



03

『QWS ステージ』での発表の場



*SHIBUYA QWS の価値に共感する支援者コミュニティ「QWS コモンズ」とのメンタリングや、各種プログラムの提供を含みます

【SHIBUYA QWS TOPICS】

SHIBUYA QWS はまだ世の中になく新しい社会価値の創出に挑戦するプロジェクトの支援を行ってきており、2019年11月の開業以来、その数は2023年2月末時点で220を超えました。現在は約70プロジェクトが活動しております。

<プロジェクト事例：プレーリーカード>

個人がいくつも肩書きを持ち、SNS や複数のコミュニティで自由に活動し、繋がり方が多様化する現代。「プレーリーカード」は従来の名刺の役割をアップデートし、個人のさまざまな側面を多面的に伝えることで、出会いを豊かにし、「はじめまして」のコミュニケーションをデザインします。スマートフォンをかざすだけで情報交換ができる「デジタル名刺」に加え、名刺には掲載しきれない情報をまとめるためのウェブアプリケーションを開発し、2023年2月7日（火）にサービスを正式リリースしました。



■本プロジェクト発足経緯や今後について

今回のプロジェクトが生まれたのは QWS の運営者と QWS で活動する会員が出会ったことがきっかけです。出会いの場は QWS が提供するメンタリングプログラム「スクランブルミーティング」。本プロジェクト発足経緯やプロジェクトに込めた想い、今後についてを対談形式でお届けします。

サイト URL : <https://shibuya-qws.com/movement/co-creativeadvertising2023>



スクランブルミーティングとは：

15分のセッションを計5回繰り返すメンタリングプログラムです。フィードバックを受けながらプロジェクトで生まれた「問い」を磨く機会を提供しています。

「自分とは全く違う視点を面白がること」を重要視しており「Scramble Society」の多様な領域のプロフェッショナルにメンターを務めていただきます。

<https://shibuya-qws.com/program/scramble-meeting>

■越境支援者コミュニティ「QWS コモンズ」からのコメント

※QWS コモンズ：QWS 会員的一种。各分野で活躍しているリーディングプレイヤーなど、QWS の価値に共感し会員を支援するコミュニティ



Numéro TOKYO編集長 / ファッション・ディレクター

田中 杏子

Numéro TOKYO



総体的にエネルギーの交換ができるような場。

QWSでは、私の想像の範疇を飛び出した、価値ある「問い」に出合えるので、採択員でありながら、学びや気づきをいただいております。人と人が出会い、問いがぶつかり合う。そこから新たな問いが生まれ未来を創生していく。QWSは、総体的にエネルギーの交換ができるような場になっていますね。また、共創広告にも驚かされました。有力な大企業から地方自治体の行政機関、大学から個人まで、アイコンと共にそれぞれの「問い」が並んでいます。「問いを立てる」ということは、規模や立ち位置に関係なく、フラットに同列で表現ができるのだと発見がありました。この共創広告を目にした人は、「これは一体何なのだろう？」と立ち止まらずにはいられません。これこそが、発案者GEKIのみならずQWSが目指す、社会への問いかけなのだと感じております。私のディレクションをする小さなプロジェクトも並列し、参加できたことを誇りに思います。



株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー

高宮 慎一



イノベーションが生まれるホットスポット。

イノベーションは、辺境より兆しが生まれ、それらが集積地集まり、そして異質のもの同士が交配することで、生まれると言われております。その点、QWSはまさにネットワークのハブとして、交通の要衝にあり、さらにビジネスからカルチャー、メインストリームからサブカルチャーまで多様な顔をもった渋谷の地の利を活かしながら、ビジネス、アート、カルチャーがスクランブルする交差点として、イノベーションが生まれるホットスポットとなっています。起業家、ソーシャルアントレプレナー、大企業、アカデミア、アーティスト、投資家など多種多様な人がQWSに集い、コミュニティを形成しています。今回の共創広告も、その顕れでしょう。あなたもQWSで世の中を前に進める問いを立て、コミュニティとともに前に進めてみませんか？



&Co. 代表取締役 / Tokyo Work Design Week オルガナイザー

横石 崇

&Co.

こんな場所は、日本中どこを探してもみることがない。

国内において、「共創」を掲げた拠点づくりはすべからず失敗と言われていた。たとえ鳴り物入りで始まって、結局はただのハコモノで終わる事例が跡を絶たなかったからだ。しかし、どういったことか。QWSでは毎日のように、海外の起業家や投資家らがこぞって訪れ、日本中から学生たちが集まっては切磋琢磨し、アーティストやエンジニアらが歌っては踊り、大企業社員や大学教員、そして事務局メンバーまでもが肩書を捨てて、フラットに楽しそうにコラボレーションしている。行くたびに変化し続ける生き物のような、こんな場所は日本中どこを探してもみることがない。成功要因は、ハコじゃなくてヒト。そしてヒトの中に潜むトイ。これからの共同体づくりの答えはQWSにあり、この場を愛する人たちと共にあり続ける。



認定NPO法人スローレーベル理事長

栗栖 良依

Ⓢ SLOW LABEL.

ヒトと、問いを介したアイデアが交わる場所。

多様なバックグラウンドのヒトと、問いを介したアイデアが交わる場所。

渋谷駅と街に直結したQWSは、まさにSHIBUYAのショーケース。

私はこの場所ですさまざまな人に出会い元気をもらっています。

仕事に煮詰まったらQWSへ、誰かとプレストしたい時にはQWSで、

現場と現場の間隙時間に、Wi-Fiとコーヒーが必要ならQWSに駆け込もう。

私の日常を豊かにしてくれるSHIBUYA QWS、いつもありがとう！



編集者・起業家 / 株式会社コルク代表取締役社長

佐渡島 庸平

CORK

偶然を生み出してくれる、居心地の良い場所。

QWSは、そこで出会った人たちが知り合いになるのを促す雰囲気がある。

雰囲気というのは、すごくちょっとしたことだけど、そのちょっとがバタ

フライエフェクトとなり、人の出会いを変える。出会いが変わると行動が

変わる。僕にとっては、偶然を生み出してくれる居心地のいい場所だ。



パノラマティクス 主宰

齋藤 精一

panoramatics

渋谷の残された余白としての価値をQWSに期待。

最近は色々なところで共創（協創）という言葉が使われているものの、共創という目的でテーブルについて議論を始めても、本当の共創にはならないと考えています。僕にとっては共創は偶然の出会いから生まれると。僕はQWSでも起こっていると感じていて、ふらっとQWSのイベントや打ち合わせで来た時に偶然の出会いがある。偶然の出会いが起こるためには、余白である必要があるとも感じています。かつて渋谷にもっとあったはずのもの。オールジャンル、誰でも所属できる心理的/セキュリティ的安心感であったり、ふらっと訪れたい場所。渋谷は余白をもっと残していかないといけない、QWSは意図的に作られた余白としての価値をこれからも期待しています。この共創広告を通じて、QWSには様々なジャンルの人がいて、ふらっと寄りたくなる余白だということを感じてもらいたいな、と思います。

■QWS チャレンジ 15 期生応募について 詳細 URL : <https://shibuya-qws.com/qwschallenge15>

【応募資格】

1. プロジェクト実施期間中は、SHIBUYA QWS を主要拠点として活動できること
2. 3名以上のグループであること ※プロジェクトメンバーの上限は10名とします

【採択基準】

1. 可能性：未知の価値を創発する、可能性のある「問い」か？
2. 自発性：自らの感性に基づいた、自発性のある「問い」か？
3. 具体性：「問い」に回答する、具体性のあるプロジェクトか？

【採択スケジュール】

- 募集期間 : ~2023年3月31日(金) 23:59 (日本時間)
採択結果通知 : 2023年4月上旬予定
入会説明会 : 2023年4月13日(木)
無料活動期間 : 2023年5月1日(月)~7月31日(月)
QWS ステージ : 2023年7月27日(木)

【審査員】敬称略、順不同

- ・阿座上 陽平 (株式会社 Zebras and Company 共同創業者 代表取締役)
- ・麻生 要一 (株式会社アルファドライブ 代表取締役 兼 CEO)
- ・石川 直宏 (元サッカー日本代表/FC東京クラブコミュニケーター/NAO's FARM 農場長見習い)
- ・榊原 潤 (明治大学 工学部教授)
- ・近藤 洋子 (一般社団法人日本女性起業家支援協会 代表理事/日本ママ起業家大学 学長)
- ・新 和博 (W 株式会社 代表パートナー)
- ・Daniel Harris Rosen (アート・エイジェンシーTokyoDex クリエイティブディレクター 代表)
- ・丹下 健 (東京大学副学長・社会連携本部副本部長)
- ・永見 世央 (ラクスル株式会社 取締役 CFO)

About SHIBUYA QWS



SHIBUYA QWS は多様な人たちが交差・交流し、社会価値につながるアイデアや新規事業を生み出すことを目指した共創施設です。2019年11月の開業以来、QWS独自のプログラムを提供し、まだ世の中になかった新しい社会価値の創出に挑戦する220を超えるプロジェクトを支援してきました。既に社会実装をして複数のエンジェル投資家やベンチャーキャピタルからの資金調達を得たスタートアップやプロジェクトも出てきています。

<施設概要>

名称： 渋谷スクランブルスクエア／SHIBUYA SCRAMBLE SQUARE
事業主体： 東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)
所在： 東京都渋谷区渋谷 2 丁目 24 番 12 号
用途： 事務所、店舗、展望施設、駐車場など
延床面積： 第Ⅰ期（東棟）約 181,000 m²、第Ⅱ期（中央棟・西棟）約 96,000 m²
階数： 第Ⅰ期（東棟）地上 47 階 地下 7 階、
第Ⅱ期（中央棟）地上 10 階 地下 2 階、（西棟）地上 13 階 地下 5 階
高さ： 第Ⅰ期（東棟）約 229.7m、第Ⅱ期（中央棟）約 61m、（西棟）約 76m
設計者： 渋谷駅周辺整備計画共同企業体
※(株)日建設計、(株)東急設計コンサルタント、(株)JR 東日本建築設計、
メトロ開発(株)
アーキテクト： (株)日建設計、(株)隈研吾建築都市設計事務所、(有)SANAA 事務所
運営会社： 渋谷スクランブルスクエア(株)
※東急(株)、東日本旅客鉄道(株)、東京地下鉄(株)の 3 社共同出資
開業： 第Ⅰ期（東棟）2019 年 11 月 1 日 第Ⅱ期（中央棟・西棟）2027 年度
URL：<https://www.shibuya-scramble-square.com>



▲渋谷スクランブルスクエア外観

<本件に関する報道関係者さまからのお問合せ先>

渋谷スクランブルスクエア PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）

担当：矢野（080-7934-3745）、金井（080-7310-0134）、齋藤（090-6531-6108）

TEL：03-6894-3200 FAX：03-5413-3050 E-mail：scramble_square_pr@ssu.co.jp